

令和元年度事務事業評価シート(平成30年度実績)

◎基本情報

事務事業名		地域支援事業(介護予防・日常生活支援総合事業)		担当部署	健康福祉部 長寿介護課		
総合計画体系				根拠法令計画など	介護保険法		
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり		事業期間	開始	平成	18年度
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち なる				終期	未定
(小項目)		社会保障					
施策	10	介護保険制度の円滑な実施					
基本事業	4	介護予防事業の拡充・推進					

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 本市の介護保険の第1号被保険者						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	高齢になっても一人ひとりの市民が地域において自立した日常生活が営めるよう、介護予防・日常生活支援総合事業を実施し、効果的なサービスの提供及び健康状態の維持・増進、介護予防に努める。						
事業計画	30年度に何を計画していたか	介護予防訪問介護・通所介護相当サービス 訪問型サービスA1・A2(緩和型)【エプロンサービス他】 訪問型サービスC(短期集中)【くらしいきいきサポート】(作業療法士会) 訪問型サービスC(短期集中)【くらしいきいきサポート】(栄養士会) 訪問型サービスC(短期集中)【くらしいきいきサポート】(歯科衛生士会) 通所型サービスA(緩和型) 通所型サービスC(短期集中)【くらしいきいきサポート】(作業療法士会・理学療法士会) いきいきサロン普及啓発 いきいき百歳体操普及啓発事業(地域リハビリテーション活動支援事業) 一般介護予防事業						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	単位
		要介護(要支援)認定率を20%以内にする。	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	%

◎実施結果(DO)

事業実施内容	30年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	事業計画に沿い、介護予防・日常生活支援総合事業の充実や普及啓発に努めている。いきいきサロンの普及啓発については、平成30年度末時点で、56箇所のサロンが開設されており、徳島県理学療法士会・徳島県作業療法士会の協力により、地域リハビリテーション活動支援事業として、全てのサロンでいきいき百歳体操に取り組み、介護予防効果を挙げている。					
事業実施手法		<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他					
指標名		29年度実績	30年度実績	元年度目標	2年度目標	3年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1 介護予防教室参加者	1,594	1,721	1,550	1,550	1,550	人
	2 ボランティアポイント事業登録者	112	101	130	140	140	人
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	要介護(要支援)認定率を20%以内にする。	18.7	19.0	—	—	—	%
	目標達成率(実績/目標)		105.3	—	—	—	%
今年度の進捗状況	計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり		

財源内訳	平成30年度	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
		当初予算額		70,382	33,734	0	132,310	33,734	270,160
		補正予算額		6,879	30		△ 6,693	30	246
		繰越予算額		0	0	0	0	0	0
		全体予算額		77,261	33,764	0	125,617	33,764	270,406
		決算額		74,485	33,765	0	67,595	25,097	200,942
		繰越額		0	0	0	0	0	0
	人件費		正規職員(7,321千円/人)		臨時職員(2,125千円/人)		総人件費		総事業費
			0.0		0.0		0		200,942

【鳴門市行政評価】

【事務事業名：地域支援事業（介護予防・日常生活支援総合事業）】

事業費推移	年度	29年度決算	30年度決算	元年度	2年度	3年度
	事業費	243,133	200,942	226,120	226,120	226,120
	うち一般財源	30,385	25,097	27,947	27,947	27,947
	人件費	0	0	0	0	0
	総事業費	243,133	200,942	226,120	226,120	226,120

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった		多様な予防事業の中で、有効性の確認が判断し難いものがある。
	効率性	B:概ね効率的だった		介護予防台帳管理システムにより介護予防事業やいきいきサロン等のデータ管理の効率性と正確性が増し、経年での状況や介護予防の効果の把握が可能となった。
②成果に対する評価	指標名	要介護(要支援)認定率を20%以内にする。		要介護(要支援)認定率の目標は達成。
	目標	20.0	%	
	実績	19.0	%	
	評価	A:目標を達成できた		
③総合的な評価		B		全体的な数値目標は達成できているものの、より効果的な予防活動の実施やその方法等を検討し実施する必要がある。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	新たに歯科衛生士による訪問型サービスCを開始し、高齢者の口腔ケアとフレイルの予防に努めた が、従前より提供している理学療法士と作業療法士による短期集中サービスの利用者が伸び悩んでおり、今後の検討課題である。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	4
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	R1年度	いきいき先生のメニューを増やし、いきいきサロンの充実を図るとともに、指導の補助を行う「中級リーダー」や、指導ができる「上級リーダー」の養成を目指す。また、リハビリテーション専門職による短期集中サービスの普及啓発を進めていく。			
	R2年度	第8期高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画の策定年度であることから、介護予防・日常生活支援総合事業の実績と課題を分析するとともに、今後の制度改正等に順応できる制度設計の確立のため、引き続き市民からの情報収集及び事業の実施内容や実施体制等についての検証を行っていく。			